

学校名 行田市立中央小学校
所在地 行田市本丸7番20号
電話 048-554-5551

1 本校の概要

本校は、平成29年度県内初の『日本遺産』に認定された「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち」に学区がある。学校のそばには、映画「のぼうの城」の舞台となった忍城があり、校舎からお城の見える、水と緑豊かな恵まれた環境にある。また、『すべての基本は授業から』を基本理念とし、礼儀礼節を重んじ、師を敬い、自ら学び、互いに高め合う文武両道の学校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実や学力向上を図るための取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 校内読書週間の実施

学期毎に読書週間を設け、本に親しむ機会を増やしている。学年のめあてを決め、めあてを達成した児童には賞状を渡したり、学年のベスト5を紹介したりしている。また、期間中に読んだ本の中からおすすめの一冊を選んでしおりを作成し、校内に掲示している。



イ 並行読書

国語の授業と合わせて、並行読書に取り組みさせている。教科書の教材と同じテーマの読み物や物語と同じ作者の本を教室におき、児童に紹介している。



ウ 読書ボランティア

読書ボランティアによる本の貸出しや読み聞かせを行っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 全クラスでめあてを達成した児童が90%以上であった。より多くの本を読もうとする意欲をもって取り組むことができた。

イ 本や文章を比較して読むことで、考えを広げたり深めたりしようとする態度が育ってきている。

ウ 児童が様々なジャンルの本と関わる機会が増えている。

(2) 課題

ア 読書週間以外での読書活動や図書室の利用を充実させるための指導や、学級文庫や図書室の環境整備を図る。

イ 当該単元でどのような読む能力を育成するのかを明確にし、単元のねらいに応じて、どのような並行読書材を活用していくかを考え、児童が手に取りたくなるような並行読書材を準備していく。

(3) おわりに

今後も読書環境を充実させ、児童の読書の量や質を高めていき、豊かな心の育成に努めたい。